

[解答例]

英語〔前期A方式(1/29)〕

設問		解答例
I	①	2
	②	4
	③	2
	④	4
	⑤	4
	⑥	3
II	⑦	1
	⑧	1
	⑨	1
	⑩	1
	⑪	4
	⑫	1
	⑬	2
	⑭	1
	⑮	4
	⑯	1
III	⑰	6
	⑱	2
	⑲	5
	⑳	4
	㉑	3
	㉒	1
IV	㉓	1
	㉔	2
	㉕	2
	㉖	1
	㉗	3
	㉘	1
	㉙	4
V	㉚	3
	㉛	2
	㉜	3
	㉝	6
	㉞	5
	㉟	3
	㊱	1
	㊲	5
	㊳	8
	㊴	7

英語〔前期A方式(1/30)〕

設問		解答例
I	①	4
	②	1
	③	1
	④	4
	⑤	3
	⑥	1
II	⑦	3
	⑧	3
	⑨	1
	⑩	2
	⑪	4
	⑫	2
	⑬	3
	⑭	3
	⑮	1
	⑯	1
III	⑰	3
	⑱	1
	⑲	5
	⑳	2
	㉑	4
	㉒	6
IV	㉓	2
	㉔	1
	㉕	2
	㉖	2
	㉗	3
	㉘	1
	㉙	3
V	㉚	5
	㉛	7
	㉜	6
	㉝	8
	㉞	4
	㉟	3
	㊱	6
	㊲	8
	㊳	5
	㊴	6

英語〔前期B方式〕

設問		解答例
I	①	2
	②	4
	③	4
	④	3
	⑤	3
	⑥	1
II	⑦	5
	⑧	2
	⑨	4
	⑩	3
	⑪	1
	⑫	6
	⑬	4
	⑭	6
	⑮	2
	⑯	1
III	⑰	3
	⑱	5
	⑲	1
	⑳	2
	㉑	2
	㉒	4
	㉓	3
	㉔	3
	㉕	4
	㉖	2
IV	㉗	1
	㉘	1
	㉙	1
	㉚	3
	㉛	3
	㉜	8
	㉝	5
	㉞	3
	㉟	2
	㊱	7
	㊲	4
V	㊳	6
	㊴	2
	㊵	2
	㊶	8
	㊷	8

英語〔後期〕

設問		解答例
I	①	3
	②	4
	③	4
	④	1
	⑤	3
	⑥	2
II	⑦	2
	⑧	1
	⑨	4
	⑩	6
	⑪	5
	⑫	3
	⑬	4
	⑭	5
	⑮	6
	⑯	2
III	⑰	1
	⑱	3
	⑲	1
	⑳	1
	㉑	4
	㉒	4
	㉓	4
	㉔	3
	㉕	4
	㉖	4
IV	㉗	2
	㉘	2
	㉙	4
	㉚	2
	㉛	2
	㉜	7
	㉝	2
	㉞	7
	㉟	3
	㊱	8
V	㊲	1
	㊳	2
	㊴	4
	㊵	7
	㊶	5

[解説]

英語〔前期A方式 1/29〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「オーストラリア北東部に生息するヒクイドリ」。

(1)・(3)は文脈を把握して空所を補う問題。(1)はヒクイドリの特徴として、空所よりあとの段落で言及されているものを選ぶ。(3)は2か所ある空所に共通で入るものを選ぶ。それぞれの空所の前後の因果関係を確認し、どちらも空所のあとが原因で、空所の前の内容が引き起こされていると判断できるので、due to「～により」が適切。

(2)・(5)は本文の内容一致問題。選択肢の内容から、照合する部分を判断する。(2)は本文の内容と一致するもの、(5)は一致しないものを選ぶ。(2)はヒクイドリの身体的特徴について述べている第2段落と照合する。(5)の①・③は、ヒクイドリの保護に関する内容であると判断し、第6段落の内容と照合する。②ヒクイドリが生態系に及ぼす影響については、第5段落の内容と照合する。④ヒクイドリのヒナについて言及があるのは第4段落で、その内容と照合する。選択肢が出現順に並んでいないことに注意。

(4)は与えられた文の空所に適するものを補う問題。casqueをキーワードとして本文の該当箇所を見つけ出す。ここでは、第3段落と照合する。

(6)は問題文のタイトルをつける問題。タイトルは、その文章全体のテーマを示すものを選ぶ必要がある。正解は③。問題文で述べられている内容であっても、全体のテーマを示していないものはタイトルとしてふさわしくない。

II

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「英語や日本語などの言語におけるあいさつ」。

(1)・(4)は本文中の語の意味を問う問題。類義語の知識や文脈から意味を推測する能力が問われている。

(2)・(3)は文脈を把握して空所を補う問題。(2)は空所の前後の文脈から判断する。(3)は文脈に加え、熟語の知識が問われている。

(5)・(6)は本文の内容一致問題。(5)は本文の内容に合致しないものを選ぶ問題(1問)で、(6)は与えられた文に続くものを選ぶ問題(3問)である。選択肢で与えられている英文をもとに、キーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、適切な選択肢を選ぶ。

英語〔前期A方式 1/30〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「大学生活で成功するためにすべきこと」。

(1)は文脈を把握して空所を補う問題。空所を含む文よりあとは、大学の勉強に関してすべきことが挙げられていることに注目する。skills「技術、技能」が適切。

(2)は本文中の語句の意味を問う問題。prioritizeは「～に優先順位をつける」の意。下線部の前後の文脈も正確に理解しているかが問われている。

(3)は本文中の語句が示すものの例として適当なものを選ぶ問題。下線部は「フィードバックを求めること」の意。これに適する例は①の「意見を求めること」である。

(4)・(5)は本文の内容一致問題。(4)は本文中の記述の内容として適当なものを、(5)は適当ではないものを選ぶ。(4)は「ストレスの対処法」と指定されているので、第6段落の内容と照合する。(5)はいずれもcampus lifeに関する内容である点に注目し、それについて述べられている第7段落の内容と照合する。

(6)は問題文のタイトルをつける問題。タイトルは、その文章全体のテーマを示すものを選ぶ必要がある。正解は①。問題文で述べられている内容であっても、全体のテーマを示していないものはタイトルとしてふさわしくない。

(7)は本文の内容に関する英問英答が2問。問われている内容を正確に把握し、解答の根拠となる段落や記述を見つける。

III

会話文の空所補充問題。Yukina、Heyley、Abbieの3人が、ハワイ旅行の計画について話している場面。会話全体の文脈を押さえたうえで、空所の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

IV

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

(1) foolは「～をだます」の意。by his charm「彼の魅力によって」が続くので、受動態のto不定詞になるbe fooledが適切。

(2) 分詞構文。lackは「～がない」の意。したがって、能動態の意味になる現在分詞Lackingが適切。

(3) 主節より、仮定法過去完了の文と判断する。if節は〈if＋主語＋過去完了〉の形が適切。

(4) 〈ask＋O＋to不定詞〉「Oに～するように頼む」を使った文。my friends and meがOにあたる。

(5) be surprised to～で「～して驚く」の意。catchは「～を捕まえる」の意なので、受動態の完了不定詞であるto have been caughtが適切。

(6) 〈hate＋動名詞[to不定詞]〉で「～したくない」の意。involve A in Bは「AをBに巻き込む」という意味を表すので、「～に巻き込まれたくない」となるように①の受動態の動名詞を選ぶ。

(7) take your timeで「ゆっくりやる」の意。

V

正しい語順は次の通り。

(1) I think I'd (be suitable for the position because I've had) lots of relevant experience.

(2) I (appreciate your helping me with the plans for) the party.

(3) Do you (think there is enough space for a hundred) people in this classroom?

(4) Nancy lets (her young children stay up past midnight on) weekends.

(5) No, (there's no way I'm going to allow my) kids to go to that concert.

II

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「まだ読んでいない本の価値」。

(1)・(4)・(5)・(6)は本文中の語・表現の意味を問う問題。類義語の知識に加え、前後の文脈も正確に理解しているかが問われている。

(2)は文脈を把握して空所を補う問題。空所の前後は逆接の関係となっていることからButが適切である。

(3)は代名詞が指す内容を選ぶ問題。このItは形式主語ではないこと、直前のTalebが書いている内容の名詞句を指していることを判断する。構文・文脈の両方の理解について問われている。

(7)・(9)は本文の内容一致問題。(7)は本文の内容と合致しないものを選ぶ問題(1問)。それぞれの選択肢のキーワードを本文中から見つけ出してその前後を正確に読み取り、適切な選択肢を選ぶ。(9)は与えられた文の空所にあてはまるものを選ぶ問題(2問)。1.はまだ読んでいない本に対するTalebの考えが述べられた第3～7段落から、名言されていない内容を読み取る必要がある。2.はantilibaryという語に対するKevin Mimsの姿勢が書かれた第10段落と照合する。どちらの問題も、設問文で示された人物の姿勢を読み取る必要があることとなる。

(8)は問題文のタイトルをつける問題。タイトルは、その文章全

体のテーマを示すものを選ぶ必要がある。正解は③。問題文で述べられている内容であっても、全体のテーマを示していないものはタイトルとしてふさわしくない。

III

会話文の空所補充問題。Jake、Tim、Simonaの3人が、電車の乗り継ぎや、電車内で読む本について話している場面。会話全体の文脈を押さえたうえで、空所の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

IV

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) mentionは目的語に動名詞をとるのが標準。また、loseは「～を失う」という意味なので、能動態の完了動名詞であるhaving lostが適切。
- (2) May I～なので、動詞の原形が続く。動詞excuseは「～を免除する」の意なので、受動態のbe excusedが適切。
- (3) 与えられた文から、「～が必要なので、私は…へ行った」のような意味になると判断する。したがって、現在分詞Needingを入れて能動態の分詞構文にする。

英語〔前期B方式〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「19世紀イギリスの食や公衆衛生について」。

(1)は本文中の語の意味を問う問題。類義語の知識や文脈から意味を推測する能力が問われている。

(2)は分数表現の知識を問う問題。第2段落第1文のfour-fifthsに注目。分数と百分率の関係についても理解しておく必要がある。

(3)～(5)は本文の内容一致問題。選択肢の内容から、照合する部分を判断する。(3)は本文の内容と一致しないもの、(4)・(5)は一致するものを選ぶ。(3)は第2・3段落、(4)は第4～6段落、(5)は第7～10段落とそれぞれ照合する。選択肢が出現順に並んでいないことに注意。

(6)は本文中のできごとの時系列を問う問題。年号や時を表す語句と、起きたできごとを整理しながら、本文を読み進める必要がある。

II

会話文の空所補充問題。Part 1とPart 2はひと続きの内容である。Geoffが地下のコンビニエンスストアで、電子マネーを使って代金を支払おうとしたときのことを、Andyと話している場面。2人の関係と会話全体の文脈を押さえたうえで、空所の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

III

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) aboutが前置詞であり、diagnose A with Bが「AをBと診断する」という意味であることから、受動態の動名詞が適切。
- (2) 主節から仮定法過去完了と判断する。〈if only + 過去完了の文〉で「～してさえいれば」の意。

英語〔後期〕

I

文脈把握を中心とする長文読解問題。テーマは「女性画家フリーダ・カーロと彼女の作品について」。

前期B方式と同様の構成、時間設定である。B方式よりも、語の意味や、それが表す内容を問う問題が多い。

(1)は本文中の語句が指す内容を選ぶ問題。この語句は第3段落第1文にあり、these「これらの～」と指示代名詞が含まれていることから、直前の第2段落の内容と照らし合わせると判断する。

(2)・(5)は本文の内容一致問題。選択肢の内容から、照合する部分を判断する。(2)はカーロの結婚についてなので、第5段落と照合する。(5)は選択肢が出現順に並んでいないことに注意。①は第

- (4) ableはふつう、be able to ～で「～することができる」という意味を表す。また、主語がIなので、be動詞の過去形はwasが適切。よって、I've been ableを選ぶ。
- (5) oneを総称的に使い、一般的な「人」を表す。
- (6) send inで「(軍隊な)を派遣する」の意。
- (7) within ～ing distanceで「～できるところに」の意。

V

正しい語順は次の通り。

- (1) Ms. Smith, what (are your salary expectations for this sales position) ?
- (2) I saw a Broadway show (the second time that I went to New York).
- (3) I'll give you my phone number just in (case you need to get in touch with) me.
- (4) Sitting outdoors in the sun, Marsha (realized that she had forgotten to put on) sunscreen.
- (5) Mahatma Gandhi was (committed to non-violence in the struggle for independence) for India.

- (3) この文のifは名詞節を導く接続詞であり、未来のことがらを表す場合は、willなどを使う必要がある。
- (4) would rather ～で「(むしろ)～したい」の意。
- (5) 〈every other + 単数名詞〉で「1つの～おきに」の意。
- (6) 〈need + O + to不定詞〉で「Oに～してもらう必要がある」の意。また、helpは直後に原形不定詞をとり、「～するのを手伝う」という意味を表すことができる。
- (7) kill some timeで「いくらか時間をつぶす」の意。
- (8) come to ～で「(数量)に達する」の意。
- (9) fall offで「～から落ちる」の意。fellはfallの過去形で、feltはfeelの過去形である。
- (10) 「～の距離で」はat ～ rangeで表す。また、形容詞closeを使うほうが、「近い距離で」という意味で、より適切。
- (11) 名詞distance「距離」を修飾するので、形容詞considerable「かなりの」が適切。
- (12) decline in ～で「～の減少」の意。
- (13) sinceを前置詞と考え、あとに続くのは動名詞が適切。

IV

正しい語順は次の通り。

- (1) It's (apparent to us that he is biased against) technology.
- (2) I'm (afraid we don't have the budget to purchase) additional software this year.
- (3) For (decades the message has been given loud and) clear.
- (4) I'm going to try on (this jacket to see whether it goes with) my shirt.
- (5) It's about (time these politicians started realizing we don't want) this sort of thing.

6段落最終文、③は第1段落第5文と照合する。②・④は本文で述べられていない。

(3)・(4)は本文中の語の意味を問う問題。類義語の知識に加え、前後の文脈も正確に理解しているかが問われている。

(6)は本文中のできごとの時系列を問う問題。年号や時を表す語句と、起きたできごとを整理しながら、本文を読み進める必要がある。

II

会話文の空所補充問題。Part 1とPart 2はひと続きの内容である。Dannyが、引っ越しを控えているKen、Lenaと話している場面。引っ越しについて、また、昔の思い出についての会話。空所

の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

Ⅲ

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) enjoyは動名詞を目的語にとる。また、laugh at ～は～を笑う」の意なので、受動態の動名詞が適切。
- (2) shouldを使った仮定法の文。ifが省略されているため、倒置されている。
- (3) while ～ingで「～している間に」の意。主節と同じ主語Iとbe動詞wasが省略されている。
- (4) prefer that ～で「～であることがよいと思う」の意。
- (5) you and himがtellの間接目的語となるため、これがつながるものを選ぶ。exactlyは「正確に」という意味で情報の正確さを強調する副詞である。
- (6) bring aboutで「～をもたらす」の意。
- (7) on timeで「時間通りに」の意。rightはこの前置詞句を修飾し、「ちょうど」という意味を表している。
- (8) over the past decadeで「過去10年間にわたって」の意。期間を表す。at the turn of the century「世紀の変わり目に」は熟語としては正しいが、完了形とは一緒に使えない。

日本史〔前期A方式 1/29〕

I

古代・中世の租税や土地制度などを題材にした問題。問1官物は租庸調・(公)出挙、臨時雑役は雑徭・雇役に由来する。問2田地の構成単位である名を割り当てられ、年貢・公事を取りまとめるようになった有力農民は①名主と呼ばれた。問3(a)臣・連・君などの家柄や地位を示す称号は姓。氏は血縁や政治の関係をもとに構成された組織。(c)Y百万町歩の開墾計画が出されたのは722年。Z三世一身の法が出されたのは723年。X墾田永年私財法が出されたのは743年。(e)前九年合戦・後三年合戦の後に東国で勢力を伸ばしたのは源氏。(h)水車・竜骨車は室町時代に使用が始まった。(j)地下請は年貢などを惣村がひとまとめにして請け負うこと。

II

戦国大名の分国支配を題材にした問題。問1戦国大名は土地の貢納高を銭(貫高)に換算し、それを基準に民衆には年貢を、家臣には軍役を負担させ、統一的な支配を行った。これを貫高制という。問2戦国大名は、有力家臣(寄親)に地侍たち(寄子)を預け、家臣団を統制した。これを寄親・寄子制という。問4(a)④彦根は江戸時代に発展した城下町。①小田原は北条氏、②駿河府中は今川氏、③一乗谷は朝倉氏の城下町として栄えた。(c)②主君が死去した際の殉死の禁止は、江戸幕府4代将軍の徳川家綱が命じ、5代将軍徳川綱吉の時代に武家諸法度に追加された。

日本史〔前期A方式 1/30〕

I

古代～中世の歴史的事件を題材にした問題。問1A藤原百川の出身は式家。B人臣ではじめて摂政の地位についたのは藤原良房。C後白河天皇と崇徳上皇の争いが起こったきっかけは鳥羽法皇の死去。E京都に攻め上った足利軍を敗走させたのは北畠顕家。F鎌倉公方の足利持氏を討伐したのは足利義教。問4平徳子(建礼門院)は高倉天皇の中宮となった。二人の間に生まれたのが安德天皇。問5宗尊親王が将軍に迎えられたのは、宝治合戦(1247年)より後の1252年。問6建武式目が出されたのは後醍醐天皇の死去(1339年)より前の1336年。問7鎌倉府が支配したのは関東8か国に加えて伊豆・甲斐で、のちに陸奥・羽羽も加わった。

- (9) coverは距離を表す名詞(句)を目的語にとって、「(距離)に行く」の意味を表すことができる。
- (10) ought to have been invited to ～で「～に招待されるべきだった」の意。
- (11) <upon + 動名詞>で「～するとすぐに」の意。
- (12) being with himで「彼といること」という意味を表す動名詞句として使われている。これが文の主語である。
- (13) <be supposed to + 動詞の原形>で「～する[である]ことになっている」の意。handwrittenは「手書きの」という意味の形容詞。

IV

正しい語順は次の通り。

- (1) The 24-hour call-out service is (included in our basic package at no additional) cost.
- (2) Ms. Sato, (why do you think you're right for this) job?
- (3) Most (of us would think twice about spending so) much money on clothes.
- (4) It (was important for the patient to be seen) by a specialist.
- (5) We were just talking (about our boss when all of a sudden) she walked into the room.

III

近代の学問を題材にした問題。問1『大和本草』を著したのは貝原益軒。問2『農業全書』を著したのは宮崎安貞。問3『塵劫記』を著したのは吉田光由。問4(a)Z高橋至時らが西洋天文学を取り入れた寛政暦をつくったのは、寛政年間(1789～1801年)。X高橋景保(至時の子)がシーボルト事件の責任を問われて処罰されたのは1828年。Y蕃書調所が設置されたのは1856年。(b)緒方洪庵の適塾は、大坂で開かれた。(c)コンドルは工部大学校、クラークは札幌農学校で学生たちを指導した。フェノロサは岡倉天心と共に東京美術学校の設立に尽力した人物。

IV

近現代の政治を題材にした問題。サンフランシスコ平和条約の条文が史料として提示されている。問1、問2、問3日本の領土についてサンフランシスコ平和条約で取り決められたのは、朝鮮の独立、台湾・南樺太・千島列島などの放棄である。イ空欄の後にある「澎湖諸島」は下関条約で台湾と共に清から割譲した地域である。ウロシアからの南樺太割譲は、日露戦争後に結ばれたポーツマス条約による。問4(c)日本国内およびその付近に配備が許与されたのは、アメリカの軍隊。問5③ソ連は講和会議に出席していたが、条約には調印しなかった。①インド、④ビルマは条約案への不満から講和会議に出席せず、②中国(中華人民共和国、中華民国)は講和会議に招かれなかった。その後日本は1952年に中華民国・インドと、1954年にビルマと平和条約を結んだ。

II

江戸時代の宗教政策を題材にした問題。史料Aは鎖国令(寛永十六年令)、史料Bは宗門改め、史料Cは寺請制度に関する史料である。問1、問2史料Bは見慣れないものだが、史料Aと史料Cが宗教関連のものであることが分かれば、空欄の前後の文言や問題の選択肢と照らし合わせて、宗門改や人別帖という語を導き出すことができる。問3寛永十六(1639)年の鎖国令で来航が禁止されたのは④ポルトガル船。問5史料Aの鎖国令が発令された要因は、1637～38年に起こった④島原・天草一揆。問7不受不施派は④日蓮宗の宗派の一つ。